令和4年度　　国語科　書写　１年　　年間指導計画・評価計画

学期	月	時数	単元名 教材名	学習目標 学習内容	評価の観点 知	思	態	評価規準 （評価方法）
1学期	4～7月	適宜	さあ，書こう。 学習のはじめに（姿勢・筆記具の持ち方／字形の整え方）／学習の進め方	・用具の扱い方や正しい姿勢・筆記用具の持ち方を理解することができる。	○		○	・用具の扱い方や正しい姿勢・筆記用具の持ち方を理解している。（観察） ・進んで用具の扱い方や正しい姿勢・筆記用具の持ち方を確かめようとしている。（観察）
			１　読みやすく書くための楷書					
		7～8（毛筆4～5／硬筆3）	[やってみよう] 漢字を分解してみよう	・点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。	○		○	・点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。（清書作品） ・進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。（観察、振り返りシート）
			漢字の筆使い	・点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。	○		○	・点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。（清書作品） ・進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って「天地」や「春風」などを書こうとしている。（観察、評価シート）
			楷書に調和する仮名（いろは歌）	・楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。	○		○	・楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。（清書作品） ・積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。（観察、評価シート）
			文字の大きさと配列（俳句）	・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	○		○	・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。（清書作品） ・進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で俳句を書こうとしている。（観察、評価シート）
			[コラム]文字の歴史を探る	・漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。	○		○	・漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。（テスト） ・積極的に文字の歴史について知ろうとし、学習課題に沿って身近な使用例を調べようとしている。（観察、ワークシート）
			[学校生活]目標を書こう	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○	○	○	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。（清書作品） ・目標を書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。（清書作品） ・進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして目標を書こうとしている。（観察、ワークシート、評価シート）
2学期	8～12月		２　読みやすく速く書くための行書					
		8～9（毛筆5～6／硬筆3）	[やってみよう] 速さを比べてみよう	・漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。	○		○	・漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。（発言、ワークシート） ・積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合おうとしている。（発言、ワークシート）
			行書の特徴	・漢字の行書の特徴を理解することができる。	○		○	・漢字の行書の特徴を理解している。（テスト） ・積極的に楷書と行書の違いを考え、学習課題に沿って行書の特徴を話し合おうとしている。（発言、ワークシート）
			丸み・点画の連続	・漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して、身近な文字を書くことができる。	○		○	・漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して、身近な文字を書いている。（清書作品） ・進んで行書の書き方（丸み・点画の連続）を理解し、学習課題に沿って「一」「二」「口」を書こうとしている。（観察、練習作品）

			点画の変化	・漢字の行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解して、身近な文字を書くことができる。	○		○	・漢字の行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解して、身近な文字を書いている。（清書作品） ・進んで行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解し、学習課題に沿って「大木」「北西」「月光」を書こうとしている。（観察、練習作品）
			書き初め	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○			・今までに学習した知識・技能を生かして書いている（清書作品）
3学期	1～3月	4	[国語]季節のしおり１	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○	○書	○	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。（清書作品） ・季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。（清書作品） ・進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。（観察、ワークシート、評価シート）